

音楽科学習指導案

単元名：どれみでうたったりふいたりしよう

「どれみのいちをおぼえてふこう」

(全時6間扱い中 第4時)

授業日時 2019年9月12日(木) 第5校時

授業学級 1年西組

授業会場 1年西組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、教師や友人が決めたリズムをまねてふいてみたり、『どれみであいさつ』を演奏する活動を通して、指番号に気をつけながら「どれみ」をふくことができる。

(2) 授業のポイント

・「ど」と「そ」を覚えた子ども達が、リズムや音色に気をつけながら自分オリジナルの『ど』と『そ』のリズムを考え、演奏した。【前時までの子どもの様子】

・親指・人差し指・中指を順番に使うことで弾きやすさに気が付き、まねて吹く活動や曲に合わせて吹く活動を通して、指番号が定着するよう着目する。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎児童の反応・◇留意点・★教材	時間
導入	1. ふりかえり	○「ここってなんの音の場所だったかな？」 ◎「ど！」 ○「どうして『ど』ってわかったの？」 ◎「2つの黒鍵の左下だから！」「シール貼ってあるから！」 ○「もう一つ音あったね！？なんだったけ？」 ◎「そ！」 ○「どうして『そ』ってわかるの？」 ◎「ここ！」「3つの黒鍵のところ！」「どのシールから5番目だから！」 ○「ではみんなで『どー』と吹いてみましょう。いい音ですね」 ○「次に『そー』も吹いてみよう」 ◇4秒の長さ×2ずつ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 【リズム変わる】 ○「じゃあみんな『ど』の音を『どどど・』のリズムで吹いてみようか」 ◇準備の恰好（ホースは口につけて、手を鍵盤にのせる） ◎ふく ◇1～4号車まで確かめる ○「次に『そ』をさっきと同じリズムでふいてみよう。」 ◎「そそそ・」 ◇1～4号車まで確かめる ○「みんな上手だね！」	7

	2. れとみをする	○「みんなで『ど』と『そ』を使って演奏してみましょう」（意図）ここまでが前時の復習であるので、最後は歌に合わせて楽しく定着してもらいたい ★どんぐりさんのおうち ○「『ど』と『そ』は良さそうだね。じゃあ今日はあたらしい音に挑戦したいんだけど・・・。 みんなにきくよ！ここって何の音？」 ◎「れ！」 ○「どうして『れ』ってわかるのかな？」 ◎「2つの黒鍵の真ん中にあるから！」 「ピアノやってるから！」 「『ど』の隣だから」 ○「そっかー！（みんなの意見をまとめる）黒鍵の真ん中にあるから、ここは『れ』なんだね」 ◇れの♪カードを黒板に貼って、出てきた意見をまとめる ★れ♪カード ○「じゃあ、ここはなんの音」 ◎「み！」 ○「どうしてこの場所が『み』なのかな？」 ◎「『ど』から2個離れてる！」 「ふたつの黒鍵の右下！」 ○「なるほどー！（みんなの意見をまとめて）黒鍵の右下にあるからここは『み』っていうんだね」 ◇みの♪カードを黒板に貼る→出てきた意見をまとめる ★み♪カード ○「どうやらここが『れ』でここが『み』なんだね」 ◇まとめながら、『れ』と『み』の場所シールをハーモニカ画像に貼る ★ハーモニカ画像 ○「今からみんなにれとみのシールを配りますね。先生が一人ずつ確認に回りますね」 ◇一人ひとり場所があるか机間指導にまわる ★シール配布	7
--	------------------	---	----------

【学習課題】指に気をつけながら、「どれみ」をふこう			
展開	3. 指を確認	○「じゃあ『どれみ』をふいていくよ。最初はゆっくりね。」 ◇おやゆびでふく素振りをみせる ◇だんだんと速くしていく ○「〇〇さん、先生あれだけ早くしていたのにどうしてこんなにはやくふけたの？」 （意図）指の順番に目をつけてほしい、指番号についてふれるため ◎「息をたくさん吸ったから」 「指をこうした方が、早くなっても大丈夫だよ」 「いい姿勢でやったから」 ○「え？指をどうしたって？」 ◎『ど』に親指で『れ』に人差し指で『み』に中指ってやるといいよ。 ○「〇〇さんが言ってくれた方法でもう一回やってみる？」 ◎やるー！ ○「どう？さっきと比べて、どうだった？」 ◎「やりやすい！べんり！早くできる！」 ○「なるほどね。どうやら、こういう順番で指を動かすと、はやくひけるんだね。」 ◇最後にもう一度、指の場所を確認する ○「じゃあ、指の順番に気をつけながらふいてみよう」 ◇学習課題提示	10
	4. まねっこ	○「先生のまねっこをして吹いてみよう」 「どどど・うん」 「れれれ・うん」 「みみみ・うん」 「どれみ」「みれど」 「どれど」「れどれ」「みれど」「どみど」 ○「次はリズムを変えてみるよ」 「どれどれ」「れみれみ」「どみどみ」 「れどれど」「れみれみ」「れどれみ」	6

	5. どれみであいさつに挑戦	「どれみ・みれど・れどれみ・どみど」 同音→隣音→跳躍音・・・・・・ ◇最初は口で伝えたもの、次は実際に吹いて耳で聞いた音をふいてもらう ◇のちに2小節をつなげてみる ◇のちに子どもにだしてもらう ★鍵盤ハーモニカ ○「『どれみであいさつ』という曲に挑戦したいんだけど、この数字って何だろう。教えてくれる人いるかな。」 ◎「指の番号!」「押す順番だよ!」 ○「みんなが言ってくれたように、この数は指番号といます。親指が1, 人差し指が2, 中指が3だよ」 ◇ゆびばんごうカード ◇模造紙 ○「みんなで『どれみであいさつ』を吹いてみましょう」 ◇練習をとる(7分ほど) ○「最後にみんなでふいてみよう」 ★どれみであいさつ	12
終末	6. 感想	○「指に気をつけながら、吹いてみたんだけど、1-2-3と弾いてみてどうでしたか、なにか工夫したところもあったらみんなに教えてくれると嬉しいです」 ◎1-1-1ってふくよりも、1-2-3ってやったほうがひきやすいな ◎親指が1, 人差し指が2, 中指が3, は分かりやすくなった	3

【評価(対象)】

指に気をつけながら、「どれみ」をふくことができる。

(活動の様子)